

令和7年度 B R I D G E構築事業「教科等横断」推進プロジェクト 伴走支援充実事業 実施要項

1 趣旨

総合的な探究の時間の目標を実現するためには、生徒が主体的に学習活動を続け、自らの学びを振り返りながら、活動の質を上げることができるように、教員が適宜、指導や支援をして生徒の探究活動に関わることが求められる。そのため、大学教員等を講師とした講習を設定し、生徒の探究活動を伴走支援する際に必要な資質・能力の向上に資する。

2 主催

北海道教育委員会

3 期日等

		Zoom ID	パスコード
第1回	令和7年(2025年) 6月30日(月) 14:00～16:30		
第2回	令和7年(2025年) 7月24日(木) 14:00～16:30		
第3回	令和7年(2025年) 8月27日(水) 14:00～16:30		
第4回	令和7年(2025年) 9月26日(金) 14:00～16:30		

4 実施方法

各回とも同時双方向のオンライン講習とする。

5 参加対象

全道立高等学校の教職員のうち、総合的な探究の時間の担当者又は管理職
なお、各道立高等学校から原則1名以上出席すること。

6 講演内容、講師及び日程等

(1) 講演内容及び講師

	講演内容(案)	講師
第1回	探究的な学び、伴走支援とは	・弘前大学 人文社会科学部 准教授 古村 健太郎 氏
第2回	課題設定、課題解決へのアプローチ	・北海道大学 高等教育推進機構 高等教育研究部 助教 田中 孝平 氏
第3回	外部機関等と連携した探究活動の方法	・北海商科大学 商学部 教授 山口 晴敬 氏 ・岩見沢東高校 普通科改革支援事業 教育コーディネーター 濱尾 洋裕 氏
第4回	ファシリテーションとリフレクション	・東京学芸大学 先端教育人材育成推進機構・高校 探究プロジェクト 准教授 藤村 祐子 氏

(2) 日程等

14:00 14:10

16:10 16:30

開会	講義	協議	振り返り	閉会
----	----	----	------	----

※途中、10分間の休憩を含む

7 申込方法及び申込期日

(1) 学校から教育局

- 各学校は、別紙1「学校申込書」に必要事項を記入し、各講習の実施2週間前までに、所管の教育局教育支援課教育支援係あて提出すること。

(2) 教育局から高校教育課

- 各教育局は学校から提出された別紙1を別紙2「教育局集計用」にとりまとめ、各講習の実施10日前までに、高校教育課企画担当（前野）まで提出すること。

8 全国教員研修プラットフォーム（Plant）への申込み、参加方法等

- 本事業は、Plantに登録する研修の対象としている。講習参加者のPlantへの申込みについては、高校教育課で行うため、学校において対応は不要である。
- 各学校から参加する人数は複数名でも構わないが、同時に接続できる端末数が限られていることから、接続する端末数は、各学校1台とすること。
- 同時双方向のオンライン講習後、講習内容をオンデマンド化する。動画は、オンライン講習実施後、2週間を目処にアップロードする予定。オンデマンド講習についてもPlantに登録する研修の対象としていることから、オンデマンド講習の受講を希望する場合は、下記研修名、研修コード等からPlant上で検索し、各自で申し込むこと。
- 講習で使用する資料等は、講習実施日の1週間前を目途にアップロードするので、下記研修名、研修コード等から検索し、事前にダウンロードすること。

	研修名	資料ダウンロード用 研修コード	オンデマンド 研修コード
第1回	伴走支援充実事業 第1回（6月30日）		
第2回	伴走支援充実事業 第2回（7月24日）		
第3回	伴走支援充実事業 第3回（8月27日）		
第4回	伴走支援充実事業 第4回（9月26日）		

9 受講後アンケート

- 同時双方向のオンライン講習については、講習当日にアンケート回答用URLを提示するので、当該URLにアクセスし、回答すること。
- オンデマンド講習のアンケートについては、受講後2週間以内を目途に、Plantにアクセスし、回答・提出すること。

10 その他

- 講習参加者は、講習で学んだ内容を校内研修等で説明するなど、学校内で普及すること。
- 協議におけるグループごとの司会等については、各グループ内で役割を分担すること。
- Zoomの表示名の設定については、今後送付する開催要項の出席者名簿を踏まえ、「グループ番号（半角数字）」+「学校名」+「氏名」とすること。
- やむを得ず講習を欠席する場合及び開催当日の緊急連絡が必要な場合は、高校教育課高校教育指導係あて連絡すること。